

発行日：2024/12/19

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度

(対象期間：2023年10月～2024年9月)



株式会社 光和

目 次

1)	組織の概要	…	1
2)	対象範囲(認証・登録)	…	2
3)	環境経営方針	…	2
	1_ 基本理念		
	2_ 環境経営方針		
4)	EA21実施組織体制	…	3
5)	環境経営目標(中期計画)	…	5
6)	環境経営目標及びその活動実績	…	7
7)	環境計画の取組内容と取組結果・次年度の取組内容	…	10
8)	環境関係法規等の遵守状況の確認、違反、訴訟などの有無	…	11
9)	代表者による全体の評価と見直し	…	12

1) 組織の概要

- 1) 事業者名 株式会社 光和
- 2) 代表者 代表取締役 佐々木 朋子
- 3) 環境管理責任者 中村 圭介
- 4) 所在地
本社
住所 : 〒124-0023
東京都葛飾区東新小岩5-16-6
TEL : 03-5875-7955 FAX : 03-5875-7956

関西営業所

- 住所 : 〒533-0033
大阪府大阪市東淀川区東中島1-20-14
東口ステーションビル 6階
TEL : 06-6711-4507 FAX : 06-6711-4508

5) 事業内容

1_ 建設業許可証

許可番号 : 国土交通大臣許可(特-6)第29187号

許可の有効期限 : 令和6年6月7日から令和11年6月6日まで

建設業の種類 : 土木工事業	建築工事業
左官工事業	とび・土工工事業
屋根工事業	タイル・れんが・ブロック工事業
鋼構造物工事業	ガラス工事業
塗装工事業	防水工事業
内装仕上工事業	建具工事業
解体工事業	

2_ 事業内容の概要

塗装工事及びコンクリート補修工事

6) 事業規模

- 1_ 2024年度売上高 : 101,071万円
- 2_ 従業員数 : 26名

2) 認証登録の対象範囲

- 1) 全組織・全活動を対象とする。

3) 環境経営方針(基本理念・環境経営方針)

1) 基本理念

当社は、公共民間の塗装業務を通して、全社員、協力会社が一丸となり環境負荷の低減、リサイクル活動推進、環境保全に積極的かつ効率的に取り組むものとする。

当社は関係環境法規等を遵守するとともに、温暖化防止に向けて、以下の環境に対する取り組みを継続的に行うものとする。

2) 環境経営方針

- 1_ 使用する燃料、電力を節約して環境負荷低減に繋がる資材、塗料の使用を推進し、二酸化炭素排出量の削減に努める。
- 2_ 節水をして水使用量の削減に努める。
- 3_ 事業所及び現場事務所では、ごみの分別をして産業廃棄物発生量の減少化に努め、リサイクル資源の有効活用に積極的に取り組む。
- 4_ 塗装業務では、環境配慮型施工を推進し、環境にやさしい塗装工事を展開する事に努める。
- 5_ 全社員が環境経営方針を理解し、取り組みを継続的に改善する事に努める。
会社内に環境経営方針、実施方法等を掲示する。

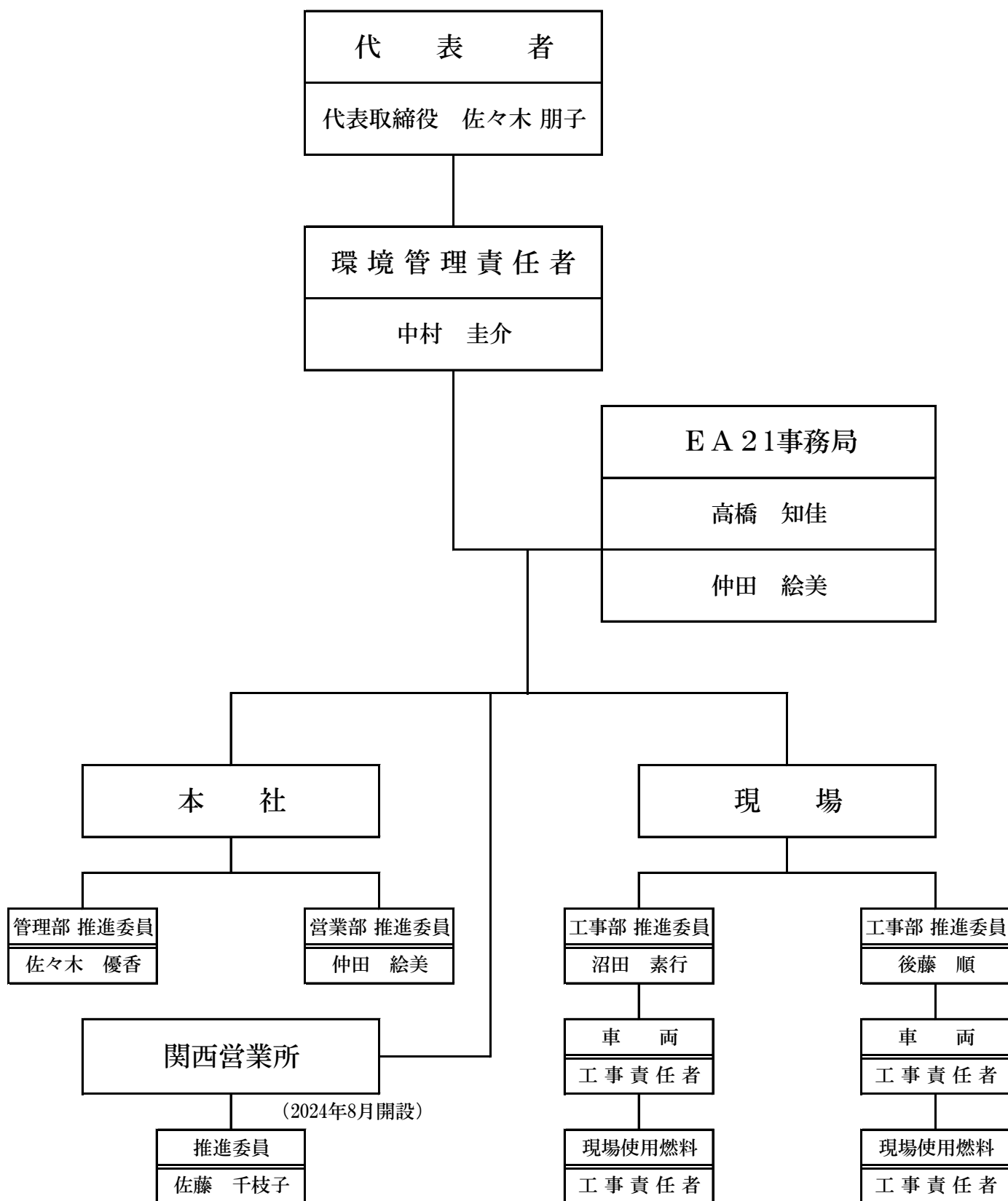
制定： 2020年7月1日

改訂： 2021年12月6日

株式会社 光 和

代表取締役 佐々木 朋子

4) E A 21実施組織体制



役職・氏名	役 割 ・ 責 任 ・ 権 限
[代 表 者] 代表取締役 佐々木 朋子	1、効果的な環境マネジメントを実施するために、役割・責任・権限を定め、各自が環境経営システムの中でどのような役割を担っているかを認識できる組織体制を従業員に周知する。
	2、環境管理責任者を任命し、EA21の運用における責任と権限を与える。
	4、環境経営方針を制定する。
	5、EA21全体の評価と見直し、必要な指示を行う。
	6、経営における課題とチャンスの明確化。
[環境管理責任者] 常務取締役 中村 圭介	1、環境経営システムの構築・運用する(代表者からEA22の権限委任)
	2、実施体制の構築(組織図及び役割・責任・権限)
	3、環境経営目標・環境経営計画書/実績表の作成
	4、教育・訓練の実施を指示
	5、環境上の緊急事態への準備・対応
	6、環境経営レポート作成
	7、環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
[E A 2 1 事務局] 営業部 高橋 知佳 営業部 仲田 絵美	1、EA21の推進
	2、環境への負荷及び取組チェック実施
	3、環境関連法規等の取りまとめ表作成と遵守評価実施
	4、環境関連文書類の管理
	5、外部環境情報の窓口
	6、環境経営目標及び環境経営計画の実施・確認・評価、達成状況の報告
	7、環境活動におけるチェックリストの記録・運用管理
	8、実施上の問題点の是正・予防処置の実施
[本社 推進委員] 管理部 佐々木 優香 営業部 仲田 絵美	1、事務所の電力・燃料の管理。節水の推進。
	2、各現場の電気・燃料・水使用量及び産業廃棄物量の把握、記録管理。
	3、本社を統括する。
[現場 推進委員] 工事部 沼田 素行 工事部 後藤 順	1、現場での電気・燃料を管理し記録する。節水の推進。
	2、現場での産業廃棄物搬出量を管理し記録する。
	3、現場を統括する。
[関西営業所 推進委員] 関西営業所 佐藤 千枝子	1、事務所の一般廃棄物量を管理し記録する。
	2、関西営業所を統括する。
[全従業員]	1、環境方針の理解と環境への取組みの重要性を自覚する。
	2、決められた事を守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する。
	3、環境改善への意見提案や環境問題・異常時の上司への報告。

5) 環境経営目標（中期計画）

本社・現場

環境経営方針を実施して下記項目の環境経営目標を設定する。

1)

環境経営目標		単位	2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
			2021年-2022年	2023-2024年	2024-2025年	2025-2026年	2025-2026年
			10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月
			基準年度	目標	目標	目標	目標
目標値設定率			数値把握	基準値比	基準値比	基準値比	
				2 % 削減	4 % 削減	6 % 削減	
1_電気使用量の削減		kWh	16,716	数値把握	16,382	16,047	15,713
排出係数	0.455	kg-CO2	7,606	数値把握	7,454	7,302	7,149
2_現場電気使用量		kWh	使用電力が無かった為記載無し	—	—	—	—
排出係数	0.455	kg-CO2					
環境経営目標		単位	2019年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
			2018-2019年	2023-2024年	2024-2025年	2025-2026年	2026-2027年
			10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月
			基準年度	目標	目標	目標	目標
ガソリン車両台数			9台	—	—	—	—
目標値設定率			基準値比	基準値比	基準値比	基準値比	
			10 % 削減				
3_化石燃料使用量の削減	ガソリン総量	L	10,868				
	2.32	kg-CO2	25,214				
	ガソリン	L	1,208	車の台数スライド制（現状維持）			
		2.32	kg-CO2				
	軽油	L	3,452	3,107	現状維持		
	2.58	kg-CO2	8,906	8,016			
CO2排出量 計		kg-CO2	11,709	車の台数スライド制（現状維持）			
4_灯油使用量の削減		L	—	数 値 把 握			
排出係数	2.49	kg-CO2	—				
5_現場灯油使用量		L	—				
排出係数	2.49	kg-CO2	—				

二酸化炭素総排出量の削減

2)	環境経営目標		単位	2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				2021年-2022年	2023-2024年	2024-2025年	2025-2026年	2025-2026年
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月
				基準年度	目標	目標	目標	目標
	目標値設定率				数値把握	数値把握	数値把握	数値把握
					－ % 削減	－ % 削減	－ % 削減	－ % 削減
	本社	水使用量	m ³	106	数 値 把 握			
現場	水使用量	m ³	支給の為、水使用量の確認が出来ません。					
3)	環境経営目標		単位	2022年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				2021年-2022年	2023-2024年	2024-2025年	2025-2026年	2025-2026年
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月
				基準年度	目標	目標	目標	目標
	目標値設定率				基準値比	基準値比	基準値比	基準値比
					4 % 削減	6 % 削減	8 % 削減	10 % 削減
	一般廃棄物		k g	844	810	793	776	760
	環境経営目標		単位	2019年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
				2018-2019年	2023-2024年	2024-2025年	2025-2026年	2025-2026年
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月
基準年度				目標	目標	目標	目標	
目標値設定率				基準値比	基準値比	基準値比	基準値比	
				10 % 削減	12 % 削減	14 % 削減	16 % 削減	
産業廃棄物		k g	22,603	20,343	19,891	19,439	18,987	
環境経営目標		単位	2019年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	
			2018-2019年	2022-2023年	2023-2024年	2024-2025年	2025-2026年	
			10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	
			基準年度	目標	目標	目標	目標	
4)化学物質の管理			使 用 量 の 把 握					
5) 環境配慮施工の推進・実施		件	－	工 事 件 数 の 把 握				

※電力の二酸化炭素の排出係数は2018年度TEPCO調整後の0.455kg-C O₂/kWhを使用

6) 環境経営目標及びその活動実績

本社・現場

1)	環境経営目標		単位	2022年度	2023年度		2024年度		2024年度 の実績及び評価
				2021年-2022年	2022-2023年		2023-2024年		
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	
				基準年度	目標	実績	目標	実績	
	目標値設定率			基準値比		基準値比		目 標 達 成	
				－ % 削減		－ % 削減			
	1_電気使用量の削減		kWh	16,716	数値把握	16,708	数値把握	13,531	○
	排出係数	0.455	kg-CO2	7,606	数値把握	7,602	数値把握	6,157	○
	2_現場電気使用量		kWh	支給の為、使用量の確認ができません					
	排出係数	0.455	kg-CO2						
C O2排出量 計		kg-CO2	7,606	－	7,602	－	6,157		
二 酸 化 炭 素 総 排 出 量 の 削 減	環境経営目標		単位	2019年度	2023年度		2024年度		2024年度 の実績及び評価
				2018-2019年	2022-2023年		2023-2024年		
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	
				基準年度	目標	実績	目標	実績	
	ガソリン車両台数			9台	－	12台	－	11台	
	目標値設定率			基準値比		基準値比		目 標 達 成	
				8 % 削減		10 % 削減			
	3_化石燃料 使用量の削減	ガソリン総量	L	10,868		13,835		17,406	
		2.32	kg-CO2	25,214		32,097		40,382	
		ガソリン	L/台	1,208	1,111	1,153	1,087	1,582	×
		2.32	kg-CO2/台	2,803	2,578	2,675	2,522	3,670	
		軽油	L	3,452	3,176	1,431	3,107	2,225	○
		2.58	kg-CO2	8,906	8,194	3,692	8,016	5,741	
	C O2排出量 計		kg-CO2	34,120	－	35,789	－	46,122	
	4_灯油使用量の削減		L	－	数値把握	90	数値把握	使用はあ りません でした	○
	排出係数	2.49	kg-CO2	－		224			
	5_現場灯油使用量		L	－		40			
排出係数	2.49	kg-CO2	－	100					
C O2排出量 計		kg-CO2	0	－	324	－	0		
C O2排出総量		kg-CO2			43,715		52,279		

2)	環境経営目標		単位	2022年度	2023年度		2024年度		2024年度
				2021年-2022年	2022-2023年		2023-2024年		
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	の実績及び評価
				基準年度	目標	実績	目標	実績	
	目標値設定率			基準値比		基準値比		目 標 成	
				－ % 削減		－ % 削減			
水使用量の削減	本社	水使用量	m ³	106	数値把握	105	数値把握	102	○
	現場	水使用量	m ³	支給の為、使用量の確認ができません					
3)	環境経営目標		単位	2022年度	2023年度		2024年度		2024年度
				2021年-2022年	2022-2023年		2023-2024年		
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	の実績及び評価
				基準年度	目標	実績	目標	実績	
	目標値設定率			基準値比		基準値比		目 標 成	
				2 % 削減		4 % 削減			
	一般廃棄物		k g	844	827	975	810	777	○
	環境経営目標		単位	2019年度	2023年度		2024年度		2024年度
				2018-2019年	2022-2023年		2023-2024年		
				10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	10月～9月	の実績及び評価
				基準年度	目標	実績	目標	実績	
	目標値設定率			基準値比		基準値比		目 標 成	
				8 % 削減		10 % 削減			
	産業廃棄物		k g	22,603	20,795	13,420	20,342	11,680	○
4)化学物質の管理			使 用 量 の 把 握					○	
5) 環境配慮施工の推進・実施		件	—	工事件数の把握	4	工事件数の把握	6	○	

6) 環境経営目標及びその活動実績（関西営業所）

当社では2024年8月に関西営業所（大阪市）を開設した。

ビルの一室を賃借していること、工事案件は未受注であることなどから把握が可能なのは電気使用量と一般廃棄物のみであるが、ここに実績を記載する。

1)	環境経営目標		単位	2024年度*		2025年度
				8～11月		10～9月
				目標	実績	実績把握
	目標値設定率			基準値比		
				— % 削減		
	1_電気使用量の削減		kWh	数値把握	1,801	
	排出係数	0.455	kg-CO2	数値把握	819	
CO2排出量 計			kg-CO2	—	819	
2)	環境経営目標		単位	2024年度*		2025年度
				8～11月		10～9月
				目標	実績	実績把握
	目標値設定率			基準値比		
				— % 削減		
	一般廃棄物		kg	数値把握	12.5	

* 2024年度は2024年9月までであるが、ここでは同年11月までの実績を参考として記載する。

- ・ 化石燃料使用量および灯油使用量は2024年度中は発生しなかった。
産業廃棄物、化学物質の管理、環境配慮施工の推進・実施についても実績がなかった。以上の項目について、2025年度は数値把握を行う。
- ・ 水使用量は、賃借（支給）のため確認ができない。
- ・ 環境経営は本社に準じるものとする。

7) 環境経営計画の取組内容と取組結果・次年度の取組内容

本社・現場

環境経営目標項目	具体的な取組内容	推進 責任者	取組結果と評価 (判定： A B C)	次年度の取組内容 (新規取組等)
1) 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	管理部 推進 委員	判定： A	今年度の記録を今後の基準にしていける。パソコンの省エネ設定やエアコンの温度設定を継続して行う。
	化石燃料量の削減	工事部 推進 委員	判定： B	タイヤの空気圧のチェックや無駄な積荷の削減などエコドライブに引き続き取り組む。
2) 廃棄物排出量の削減	一般廃棄物の削減	営業部 推進 委員	判定： A	今後もより一層のペーパーレス化を社内でも推奨していく。
	資源リサイクル推進	営業部 推進 委員	判定： A	できるだけペットボトルの購入を減らし、タンブラー等使用の推進を継続していく。
	産業廃棄物把握適正処分	工事部 推進 委員	判定： A	担当者が随時、分別状態の確認を徹底する。
3) 水使用量の削減	1_節水シールの貼り付け 2_洗い物をするときには水を溜めて洗う 3_水道水はこまめに止める	管理部 推進 委員	判定： A	今後も現状維持ができるよう努める。
4) 化学物質の管理	1_化学物質品目の確認	工事部 推進 委員	判定： A	引き続き、SDSの保管と購入量の把握をする。
	2_安全データシート(SDS)の収集			
5) 環境配慮施工の推進	1_水性塗料を使用した工事件数	工事部 推進 委員	判定： A	今後も環境にやさしい施工の提案を積極的に行っていく。
	2_現場周辺の美化運動			

評価基準： A=取組が継続的に進められた。B=取組が概ね進められた。C=取組が効果的に進められていない。

8) 環境関係法規等の遵守状況の確認、違反、訴訟などの有無

法律・条例の名称	規制内容	遵守の状況
建設リサイクル法	特定建設作業にあつては都道府県知事に 事前届け出をする。	遵守
	発注者へ書面による計画説明及び書面による 完了報告を行う。	
産業廃棄物処理法 (産業廃棄物/一般廃棄物)	廃棄物の適正分別	遵守
	収集運搬・処理業者との委託契約	
	産廃マニフェスト交付	
	産廃マニフェスト書類の保管6年間	
	産廃マニフェスト交付の状況報告	
騒音・振動規制法	作業現場においては作業日8日前までに提出	遵守
	防音型の建設機械の使用	
	作業時間の限定	
東京都環境確保条例	自動車の駐車時のアイドリングストップ	遵守
	自動車購入時、低公害車の購入促進	
悪臭防止法	溶剤系塗料を使用する場合、飛散防止策を行う。	遵守
	水性塗料への代替え推進	
フロン排出抑制法	簡易点検（3か月毎）を実施し記録を保管する。	遵守
	廃棄時、回収依頼書、又は委託確認書を交付し記録を保管する。	
大気汚染防止法 (2023年10月～)	建築物の改造・補修工事における建築物石綿含有建材調査者 によるアスベスト事前調査の実施	遵守
労働安全衛生法 (2024年4月～)	リスクアセスメント対象物を取り扱う事業場として	遵守
	化学物質管理者を選任する。	

2024年9月30日に遵守評価を実施した結果、これらへの違反はありませんでした。

また、関係当局より違反等の指摘は、過去3年間ありませんでした。

対象期間：2023年10月～2024年9月内に苦情等はありませんでした。

9) 代表者による全体の評価と見直し・指示

■環境経営方針と実施組織体制について

- ・ 環境経営方針は前年度から変更なく継続しており、次年度も継続を予定している。
- ・ 実施組織体制と役割分担についても、環境管理責任者、EA21事務局担当者を中心とした主要チームメンバーに交代はないため、一貫性のある活動が可能となっている。今年度は終盤に関西営業所を開設した。本社・営業所において全社員が常に環境負荷削減の意識を強く持ち、それぞれの業務分野で役割を果たすべく引き続き積極的に取り組んでほしい。

■環境経営目標と環境経営計画について

- ・ 当社は2021年10月と2023年5月に本社社屋を移転しており、一部の環境経営目標の数値設定が困難であった。今年度は1年を通じて同じ社屋で営業を行ったため、ようやく実績の記録や分析が容易になり、社員が腰を据えて環境保全活動に従事できる場が整ったと言える。
- ・ 受注工事現場への距離などに左右されるガソリン使用量や受注元請け工事の数や規模によって変動する産業廃棄物の量など、数値目標を設定しても社員一人ひとりの努力だけでは達成が難しい項目については、数値のみにとらわれることなく、取組内容も重視した。今年度は、保有車両の社内点検やエコドライブに関する意識づけを強化できており、その取組は評価できる。
- ・ 労働安全衛生法の改正により2024年4月から化学物質管理者の選任が義務化された。当社はリスクアセスメント対象物質を「取り扱う」事業場であり、同管理者の資格要件は不要とされているが、法改正に先立ち2023年11月に役員・社員計4名が化学物質管理者講習を修了した。今後も有害物質の可能な限りの削減と安全な取扱を全工事現場にて徹底させる。

■環境関係法規等の順守について

今年度も環境関係法規等は遵守できていた。前述の化学物質管理者の選任の他にも、2023年10月に改正された大気汚染防止法により、建築物の改造・補修工事におけるアスベスト事前調査は建築物石綿含有建材調査者の資格を保有する者による実施が義務付けられ、当社はこれに対応している。今後も各種法改正の定期モニタリングを行い、社員に必要な資格の取得や講習の受講等を含め適時適切な対応をとれるよう社内体制を整える。

2024年 12月 13日

株式会社 光和

代表取締役 佐々木 朋子